



学校だより 令和5年 2月号

<http://www.ama-net.ed.jp/school/E22/>

尼崎市立浜田小学校 校長 仁科 良久

「守・破・離ということ」

令和4年度も、残すところあと2か月となり、本年度のまとめと、新しい学年に向けての準備の季節となりました。

先月は、学校評価へのご協力ありがとうございました。いただいた評価をもとに、取り組みについての成果と課題をまとめ、次年度に活かしてまいります。

さて、先日行われたオープンスクールの折、「ジェンダー」についての講演会を実施いたしました。子どもたちが、LGBTの方たちに対して、真摯に向き合う姿が印象的でした。浜田小学校では人権教育の推進に力を入れており、本年度も様々な取り組みを行ってまいりました。例えば男女混合の整列や、敬称を「さん」に統一する等で、どれも一定の定着が見られています。

しかし、現在の状態は「望ましい様式」を身につけた段階だと考えています。今後について、形としての人権意識を身につけた後に、次の段階として心から理解し、実行できる人権意識の獲得を目指すことが大切だと考えています。

芸事の世界には「守破離（しゅはり）」という言葉があります。「始めに正しい型を身につけ、次にその型をもとに新しい考え方を取り入れ、最後に型から離れ自分なりの型を見出す」という意味だそうです。そこまで修行を続けて、始めて技を習得できると考えられています。

先日行われた、日本の伝統的儀式「歌会始」で、「友」という題で詠まれた中学2年の男子生徒の歌が披露されました。

友の呼ぶ 僕のあだ名は わるくない 他のやつには 呼ばせないけど
山梨県 北杜市 小宮山碧生さん

同じ漫画が好きなことがきっかけで仲良くなったクラスメートを思い浮かべながら、詠んだそうです。

「〇〇さん」と呼んだり、「あだ名では呼ばない」といったりした習慣は身につけるべき型として大切です。しかし、本当に相手のことを思いやり、尊重した関係になった時、このように型から離れる瞬間が生まれます。

浜田小学校の人権教育も、子どもたちが自分なりの正しい人権意識を持ち、尊重し合える人間関係を築ける人に育つことができるよう指導、支援を続けていきます。今後とも、ご理解、ご協力をお願いいたします。

図画工作科では、子どもが面白そう、やってみたい、やって楽しい、この作品を作って良かったと思えることを大切にしています。完成度の高い作品づくりを重視して、教師が思い描いた絵を如何に描かせるかといった指導をするよりも、子ども一人ひとりが何をあらわそうかな、どのように表そうかなと、自分で感じて、考えて、試行錯誤することを後押ししています。保護者の皆様にはお子様が作品をご家庭に持ち帰った際は、作品の上手い下手をみるではなく、作品について何を感じ、考え、どのように表したか、どのように試行錯誤したのかを聞いて頂きたいと思います。作品を前にして「お話しかせて」の一言と傾聴の姿勢をみせるだけでいいのです。大人が思いもよらないその子のイメージの世界を伝えてくれます。きっと大切なひと時になることと思います。

図画工作科専科 米光輝一

2月の行事予定 SC…スクールカウンセラー来校 ●…放課後学習

月	火	水	木	金
		1 委員会 入学説明会	2 スピーチフェスティバル	3 地区バスケットボール大会（6年）
		児童生徒文化発表会（図工）		
6● 定時退勤日	7	8 児童会役員選挙 （6校時）	9 代表委員会	10 4、5年出前授業 （5校時）
13 朝会 （児童会役員交代式） 定時退勤日 SC	14 大庄地区合同学習 発表会（はまだ学級 3、4校時）	15 参観・懇談（4～6 年）（5・6校時）	16	17 参観・懇談（1～3 年）（5・6校時） 部活動見学 （6年 5、6校時）
20 定時退勤日	21	22 クラブ活動（最終）	23 天皇誕生日	24
27● 定時退勤日	28			